

令和 3 年度事業報告書

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会

《 目次 》

令和３年度 柏原市社会福祉協議会事業報告	P1
1 法人組織運営	
（１）法人運営の強化	P2
（２）自主財源の確保	P3
（３）行政、その他関係機関との連携強化	P3
（４）広報啓発活動	P3
（５）組織管理体制	P3
（６）災害対策	P4
（７）安全衛生委員会の運営	P4
（８）柏原地区共同募金会の運営	P4
（９）柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営	P5
（１０）善意銀行・福祉基金の運営	P6
（１１）社会福祉士の実習、インターンシップの受け入れ	P6
2 総合的な地域福祉の推進	
（１）個別支援活動からの支援体制づくり	P6
（２）小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援	P10
（３）多機関との連携協働事業	P11
（４）社会資源の発掘活用支援	P12
（５）事務局機能の強化による活動支援	P14
3 高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）	
（１）介護予防ケアマネジメント業務	P16
（２）総合相談支援事業	P16
（３）権利擁護事業	P17
（４）継続的、包括的マネジメント業務	P18
（５）地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握	P19
4 高齢者対策の強化	
（１）健康寿命の延伸	P20
（２）認知症対策の強化	P21
（３）介護者支援の充実	P22
（４）団体活動の支援	P23
（５）地域見守りネットワークの構築	P23
5 介護保険事業	
（１）居宅介護支援事業	P24
（２）訪問看護事業	P24
（３）訪問介護事業	P26
6 障害者支援事業	
（１）柏原市療育教室	P27
（２）肢体不自由児訓練事業	P28
7 障害福祉サービス事業	
（１）生活介護	P28
（２）就労継続支援Ｂ型	P28
（３）指定特定相談支援・障害児相談支援	P29
8 「介護保険・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会 事務局会議」による 事業方針の検討	P29

令和3年度 柏原市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化が進む中、福祉ニーズの複雑・多様化といった社会情勢の変化の中で、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響が日々の生活に大きく、そして様々な影響がありました。社会全体では、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、行事・会議等が感染拡大防止のため中止・延期となりました。そして格差拡大による貧困層の増加、接触機会の減少による孤独・孤立の問題等、生活や福祉課題についてもより深刻さが増してきた年でもありました。

このような中、本会では法人の理念である「みんなで支えあう心ふれあう やすらぎのまち」を目指し「地域に必要とされる社協」をビジョンに掲げ地域共生社会の実現に向け取り組みを進めてまいりました。

法人運営においては職員の人材育成の取り組みを進め、働き方改革における雇用の見直しや、令和元年度より進めてまいりました人事評価制度を継続させ社協の基盤強化に努めました。

地域福祉推進においては、長期化するコロナ禍で、生活福祉資金の特例貸付の相談件数も700件を超え、地区福祉委員会と協力し、コロナ禍で引き起こる生活困窮者世帯が抱える課題や地域活動の自粛により地域の希薄化が加速される中で、食品・日用品を通じた生活支援やコロナ禍での地域のつながりの再構築を図りました。

高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）では地域包括ケアシステムの推進を担う中核機関として、ワンストップの総合相談拠点を中心に、地域住民に近い領域となる介護者支援活動や地域見守りネットワーク事業の強化を図りました。また高齢者の介護予防の取り組みとして、介護予防サロンの充実と自立支援を目的とした地域ケア会議の改善に努めました。

介護保険事業・障害福祉サービス事業においては、あり方検討委員会事務局会議にて事業方針を検討し、居宅介護支援事業・訪問介護事業の事業所統合を行い、介護・障害の報酬改定の時期に合わせた各事業の中期（3ヶ年）計画に対して、評価・計画修正を行いました。

社会福祉協議会運営を取り巻く厳しい現状の中ではありますが、実践してきた詳細な事業実施内容は次のとおりです。

1 法人組織運営

(1) 法人運営の強化

《理事会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
5月21日	(書面承認)	1 令和2年度柏原市社会福祉協議会事業報告(案)について 2 令和2年度柏原市社会福祉協議会決算報告(案)について 3 令和3年度第1回評議員会開催について 4 柏原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催及び柏原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 5 柏原市社会福祉協議会新役員候補(案)の選出について 6 柏原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 7 生活支援体制整備事業受託に伴う定款の変更について 8 生活支援体制整備事業受託に伴う会計区分の変更について 9 善意銀行の払い出しについて
6月14日	柏原市立健康福祉センター	10 柏原市社会福祉協議会正副会長及び常務理事の選定について 11 善意銀行の払い出しについて
10月30日	(書面承認)	12 善意銀行の払い出しについて
3月16日	(書面承認)	13 令和3年度柏原市社会福祉協議会補正予算(案)について 14 令和4年度柏原市社会福祉協議会事業計画(案)について 15 令和4年度柏原市社会福祉協議会予算(案)について 16 障がい福祉サービスわくわく生活介護における地域共生型地域密着通所介護事業の開設について 17 事業の廃止に伴う会計区分の変更について 18 第三者委員の選任同意について 19 柏原市社会福祉協議会重要な人事案件について 20 柏原市社会福祉協議会新役員候補者(案)の選出について 21 柏原市社会福祉協議会評議員選任解任委員の選任・退任について 22 善意銀行の払い出しについて 23 令和4年度役員等賠償責任保険契約締結について 24 令和3年度第2回評議員会の目的である事項の提案等について

《評議員会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
6月14日	(書面承認)	1 令和2年度事業報告(案)について 2 令和2年度決算報告(案)について 3 柏原市社会福祉協議会 新役員の選任について 4 生活支援体制整備事業受託に伴う定款の変更について
3月28日	(書面承認)	5 令和3年度柏原市社会福祉協議会補正予算(案)について 6 令和4年度柏原市社会福祉協議会事業計画(案)について 7 令和4年度柏原市社会福祉協議会予算(案)について 8 柏原市社会福祉協議会 新役員の選任について

《監事監査の開催状況》		
開催年月日	場所	監査内容
5月11日	柏原市立健康福祉センター	決算監査

(2) 自主財源の確保

①会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費(正会員)	32件	848,000円
特別賛助会費	106件	817,000円
住民賛助会費	16,181件	7,115,400円
合 計		8,780,400円

②有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら……広告2回 (阪南システムマシン株式会社2回)

(3) 行政、その他関係機関との連携強化

柏原市の担当部局から予算編成の説明を受け、適正な予算要求に努めヒヤリングの結果、補助金・受託金を確保した。

(4) 広報啓発活動

- 社協かしわら発行(年2回 全戸配布)
- ホームページの更新
- フェイスブック……更新 140回 フォロワー数 316名

(5) 組織管理体制

①苦情対応実績

ア 第三者委員の活動状況	
相談件数	0件
社協への申立後の対応	0件
第三者委員への直接の申立による対応	0件
イ 福祉サービス苦情解決相談設置事業	
相談件数	9件

②人事評価制度の運用

令和元年10月1日施行「人事評価規程」に沿って、職員の職務遂行度、職務行動及び職務能力を一定期間ごとに分析し、評価した。

令和3年8月人事評価：令和3年2月1日～7月31日 対象人数：44名

令和4年2月人事評価：8月1日～令和4年1月31日 対象人数：44名

③人権研修の実施

個々の人権意識の向上とメンタルヘルスを目的として、安全衛生委員会と共同で社内研修会を実施した。

○日時：11月10日・16日

○テーマ：「介護現場におけるハラスメントについて等」

○参加総数：63名

(6) 災害対策

以下については、災害担当プロジェクトメンバーを中心として活動した。

○災害プロジェクト会議開催：計7回

①社協事業継続計画（BCP）の見直し

○各部署の事業優先度等を明記したBCPの改定を行った。

②「eコミュニティ・プラットフォーム」の活用

○社協における要援護者名簿をもとにシステムに入力をし、発災時に活用できるよう準備した。

③防災啓発事業等への協働参加

○令和3年度災害ボランティアコーディネーター研修の参加（2名）

○三市（柏原市・羽曳野市・藤井寺市）社協の協働

1月17日 柏原市で、3市合同災害ボランティア養成講座を開催した。

(7) 安全衛生委員会の運営

「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」を用いた職場巡視や、働きやすい職場づくりのための安全衛生に関する年間計画をもとに活動し、定期的に審議した。

○委員会の開催 月1回 定期開催

(8) 柏原地区共同募金会の運営

実施者 柏原地区共同募金会 期 間 10月1日～12月31日

協 力 柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア

連絡会、柏原市内小中学校他

○共同募金

実 績 額			
街頭募金	176,073円	学校募金	163,412円
法人募金	741,190円	バッジ募金	445,000円
戸別募金	3,248,850円	その他	290,861円
職域募金	266,007円		
合 計		5,331,393円	

○歳末助け合い募金

協 力：ボーイスカウト柏原第3団、大阪東部ヤクルト販売株式会社

期 間：12月1日～12月31日 実績額：合計 45,000円

配分先：柏原市社会福祉協議会

○赤い羽根共同募金協力型自動販売機 1台設置

場 所：ほのぼのかたしも（平野1-12-1）

○赤い羽根共同募金365日募金箱設置

場 所：柏原市社会福祉協議会（大県4-15-35）

宮脇書店（堂島町2-20）

（９）柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営

センター利用状況

月	開所日	利用者数(延べ人数)	一日平均(人)
4月	9	144	16
5月	0	0	0
6月	9	39	4.3
7月	25	70	2.80
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	26	1,466	56.3
11月	24	1,241	51.7
12月	24	1,253	52.2
1月	12	510	42.5
2月	0	0	0
3月	7	361	51.5
合計	136	5,084	

○新型コロナウイルス感染症予防対策として休館した期間

4月12日～6月20日、8月2日～9月30日、4年1月21日～3月23日

※感染防止対策をとり、4月5日～4月10日、6月21日～7月31日はロビーのみ開館。4月1日～3日、10月1日～1月20日、3月24日～3月31日は貸館・クラブ活動実施。

※開館中も館内飲食禁止のため食堂は休止していたが、10月1日より食堂でのみ飲食可能となる。

○リサイクル資源の回収協力福祉施設

・段ボール回収……柏原放課後子ども教室☆い・ち・み☆

・アルミ缶回収……夢工房くるみ

(10) 善意銀行・福祉基金の運営

①善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口。金員、物品とも指定された施設、団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	0円	柏原市社会福祉協議会	398,118円
預託金品	407,118円	柏原市社会福祉協議会（払出予定）	9,000円
利息	0円		
合計	407,118円	合計	407,118円
次年度繰越金			0円

②福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日 昭和60年12月6日 前年度末基金積立額 322,366,971円
本年度末基金積立額 322,418,971円

寄付金及び基金果実	払い出し
本年度受付寄付金 0円	基金積立 53,000円
基金果実 1,200,000円	法人 1,200,000円
（国債購入時額面差額） 53,000円	
合計 1,253,000円	合計 1,253,000円

(11) 社会福祉士の実習、インターンシップの受け入れ

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：17名(実習指導者研修修了者7名)
相談援助実習：2大学1専門学校 3名（1人あたり180時間）

②短期インターンシップ受け入れ

受入実績：2大学2名

2 総合的な地域福祉の推進

(1) 個別支援活動からの支援体制づくり

①コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のコーディネート機能強化

CSW・COW（コミュニティワーカー）合同会議に大阪教育大学の新崎教授をスーパーバイザーに迎え、地域支援の視点を取り入れたケース検討を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による生活の困りごとを抱えた方への支援を幅広く展開し、相談を通し、貸付やフードバンクなど様々な制度や機関と連携をとり支援を行うとともに、その後の生活状況を聞き取り、必要な方に継続した支援を行った。

【相談支援実績】

相談対象者	相談者数	相談者延人数	新規相談件数
高齢者	650	764	238
（うち）一人ぐらし	217	352	121
（うち）高齢者のみ	305	414	117
障害者	324	563	28
（うち）身体	12	14	6
（うち）知的	28	92	7
（うち）精神	284	457	15
子育て中の親子	312	427	117
ひとり親家庭の親子	187	285	44
青少年	4	6	1
D V 被害者	15	21	3
ホームレス	0	0	0
外国人（中国帰国者含む）	17	28	13
その他（知的障がい疑い・不明）	53	142	17
その他（対象者無し・制度などについて相談）	372	551	162
その他（引きこもり）	0	0	0
その他（生活困窮者）	146	230	4
合 計	1,173	4,607	899

【内容別】

相談内容	相談者数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	532	791
生活に関する身近な相談	476	734
健康・医療に関する相談	56	79
生活費に関する相談	1,262	1,711
就労に関する相談	141	234
財産管理・権利擁護に関する相談	25	56
消費者被害に関する相談	3	6
多重債務に関する相談	8	20
D V ・虐待に関する相談	11	19
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	1,386	1,714
住宅に関する相談	86	130
子育て・子どもの教育に関する相談	144	249

その他（安否確認）	23	30
その他（ひきこもり）	169	253
その他（不登校）	117	218
その他（近所トラブル・迷惑行為）	26	91
その他（不安解消・介護者レスパイト）	35	53
その他（近所トラブル・迷惑行為）	26	91
合 計	4,500	6,388

（相談内容は重複あり）

②日常生活自立支援事業による権利擁護機能の強化と広報活動強化

認知症高齢者や知的・精神障害者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理及び書類保管サービスを行った。成年後見制度利用の必要性について検討する「日常生活自立支援事業の円滑な運営を考える検討会（通称ほっとねっと検討会）」を令和4年1月から立ち上げ、月に一回の実施を開始した。

【相談支援実績】

内容	本事業の利用に関するもの				合計
対象者 事項	認知症高 齢者等	知的障害者 等	精神障害者 等	不明・ その他	
a.問い合わせ数	13	1	4	0	18
b.初回相談数	3	0	5	0	8
c.相談援助件等 （専門員による訪問含む）	177	105	799	0	1,081
合 計	193	106	808	0	1,107

【契約者数等】

対象者 内容	認知症高 齢者等	知的 障害者等	精神障害 者等	その他	生活保護 （再掲）	合計
① 利用者数	17	11	29	0	29	57
② 新規契約者数	1	1	0	0	0	2
③ 契約終了者数	4	3	3	0	6	10
④ 年度末利用者 数（①+②-③）	14	9	26	0	24 （年度途中変 更含む）	49

【訪問回数】

975 回 （延べ回数） 左記の内、生活保護受給者支援回数 602 回

③柏原市生活困窮者自立支援事業の拡充

就労支援と家計改善支援を柱に総合的に相談に応じ、対象者の自立に向けた支援を行った。

【相談支援実績】

新規相談件数	内訳		
433	相談のみ	他機関に繋ぐ	プラン作成
	321	23	89

【法に基づく事業等利用件数】

住居確保 給付金	一時生活 支援事業	家計相談 支援事業	就労準備 支援事業	就労訓練 事業	自立相談支援 事業による就 労支援
13	0	81	13	2	117

【生活困窮者自立相談支援事業（法律相談）】

相談受付件数	受任件数	相談件数（述べ件数）
13	6	29

④新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業

特例貸付利用後もなお、家計に新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯に支給される新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金に関する個別の窓口を柏原市こども福祉部福祉総務課に開設。柏原市生活困窮者相談窓口「らいふあつぷ」と連携し、申請支援の他、適切な繋ぎを行う事で対象者の自立や生活の安定を図った。

【相談支援実績】

申請者数	内訳	
125	相談、申請支援のみ	らいふあつぷの支援に繋ぐ
	103	22

⑤柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化

障害者やその家族に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、障害福祉サービスの情報提供等、地域における生活支援を実施した。

【一般相談件数 月別件数】（のべ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	132	133	97	128	84	87	63	42	67	83	43	34	993

【支援方法】

方法	訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	171	82	50	607	3	12	91	6

【障害別】（のべ）

種別	身体	知的	精神	発達障害	高次脳機能障害	その他
件数	129	213	562	42	4	43

*重複障害のケースは、それぞれの障害（知的と精神の重複の場合は「知的」及び「精神」）に計上する。

【内容別（相談内容に含まれるものは、すべてカウント）】

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用に関すること	142	家計・経済に関すること	170
障害や病状の理解に関すること	2	生活技術に関すること	106
健康・医療に関すること	205	就労に関すること	40
不安の解消、情緒安定に関すること	254	社会参加・余暇活動に関すること	5

保育・教育に関すること	19	権利擁護に関すること	72
家族関係・人間関係に関すること	37	その他	104

⑥ピアカウンセラー相談業務（視覚障害 毎月1回）

・ピアカウンセラーによる出張講演（年4回）

⑦大阪府生活福祉資金貸付事業

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障害者等の低所得者世帯を対象に必要な資金貸付の申請支援をし、安定した生活を営むための支援を実施した。

今年度も、新型コロナウイルス感染症特例貸付への相談が多く、各関係機関と連携した体制を整えた。

	件数	新型コロナウイルス感染症特例貸付	件数
緊急小口資金	0	緊急小口資金	330
総合支援資金	0	総合支援資金	277
教育支援資金	4	総合支援資金（延長）	73
生活福祉資金	4	総合支援資金（再貸付）	279
合計	8	合計	709

⑧つながれオンライン事業

令和3年度大阪府福祉基金を活用し、つながれオンライン Area として事業を拡大。柏原市リモートボランティア「リモボラ」を新たな地域資源としてコロナ禍で止まってしまった地域福祉活動再開を図った。また地域福祉団体の連携のため係内に「団体事務局職員連携会議」を設置した。

（2）小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援

住民一人ひとりが福祉活動に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための住民組織としておおむね小学校区を単位とした地区福祉委員会を設置し、現在9地区で福祉のまちづくりのため、それぞれの地域に応じた活動を展開した。

①地区福祉委員会研修会の開催

研修名	実施日	場所	参加人数
地区福祉委員会全体研修会	6月25日	オアシス 地域交流ホール	15名
子育て支援活動研修会	7月29日	オアシス 講座室	16名
つながる人権研修会	10月22日	オアシス 講座室	18名
地区福祉委員会役員研修会	11月25日	オアシス 地域交流ホール	15名
のべ参加者数			64名

②地区福祉委員会委員長連絡会の開催

開催年月日	内容
6月25日	令和3年度 地区福祉委員会研修会（案）について （モデル事業）食を通したお互いさま活動（フードパントリー）企画書（案）について
10月15日	柏原フードパントリーについて 令和3年度 地区福祉委員会 役員管外研修会について
令和4年3月18日	令和3年度 各地区福祉委員会の取り組みについて 令和4年度 各地区福祉委員会 総会の実施方法について

③「ほのぼのかたしも」利用実績

地域住民で構成されたほのぼのかたしも運営委員会の地域福祉活動の自主運営を支援した。

開所日	のべ入館者数	のべ足湯利用者数
95 日	1,320 名	233 名

④友愛訪問事業・愛の一声訪問事業・柏原フードパントリー事業

- ・友愛訪問事業：訪問者数：のべ 16,692 名
- ・愛の一声訪問事業：対象者数：のべ 899 名 年間配布本数：82,708 本
- ・柏原フードパントリー事業：地区福祉委員会と協力して実施する。10,000 点を超える食品・日用品が集まり、のべ 500 袋を市内の必要とされる方にお渡しする。

⑤地区活動から個別支援へニーズの掘り起こし

「COW 実践記録」を継続したことにより地域支援の可視化を図った。

⑥第 33 回社会福祉法人柏原市社会福祉協議会「柏原ふれあい広場」実行委員会

令和 4 年 2 月 14 日から地域福祉活動を Youtube で配信した。視聴回数は一か月間で延べ 1,735 回。12 団体と市長メッセージ、谷口社協会長挨拶の 14 コンテンツを配信し、その後希望者に DVD を配布した。

開催年月日	内容
7 月 29 日	「柏原ふれあい広場」開催要項の変更について 第 33 回「柏原ふれあい広場」開催企画案について
令和 4 年 1 月 31 日	(書面審議) 動画配信について、予算執行実績について
3 月 31 日	第 33 回「柏原ふれあい広場」開催報告 会計報告

(3) 多機関との連携協働事業

①柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）（事務局）

【各種会議】

名称	回数	内容
役員会	1 回	事業報告、決算報告、事業計画、予算 (書面審議による)
実務担当者委員会役員会	3 回	大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会 連携推進助成事業について
実務担当者会議	1 回	生活支援事業について・大阪しあわせネット ワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業に ついて

【大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進事業】

内容	開催年月日	参加
子どもの幸せづくりサポーター養成講座 (YouTube 配信)	令和 4 年 3 月 1 日 ～4 月 28 日配信	

②柏原市生活困窮者支援会議・部会の運営

地域共生社会の実現に向けた柏原市や関係機関との包括的な相談支援体制の整備することを目的に開催。

		内容	回数
1 層	就労支援部会	企業開拓、ステップ就労について	2
	こども若者支援部会	個別支援から見える地域支援について	1
	民間支援部会	レスキュー事業の報告、地域拠点について	1
2 層	定例会議	第 2 週は情報共有、第 4 週はケース検討	24
3 層	全体会議	庁内連携について	1

③要援護者食糧等分配支援事業による切れ目のない支援

フードバンクおおさか・大阪いずみ市民生活協同組合とのそれぞれの協定に基づき、食料分配を行った。

件数	内訳			
71 件	高齢者世帯	障害者世帯	高齢者世帯	低所得世帯
	13	5	3	50

(4) 社会資源の発掘活用支援

①柏原市ボランティア・市民活動センターの充実

ボランティア活動の普及啓発、情報提供、相談、講座、研修、活動支援を実施し、誰にでも分かり易く、親しみやすいセンター事業の運営に努めた。

【登録状況】

グループ (87 グループ)	個人登録	合計
1,846 名	15 名	1,861 名

【依頼状況】

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
8 件	1 件	0 件	24 件	0 件	2 件	0 件	35 件

【ボランティア・市民活動センター会議】

開催年月日	内容	参加者
中止	令和 2 年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議の開催は中止。代わりに書類を郵送。	

【ボランティア講座・行事】

開催時期	内容
4 月	・ リモートボランティア (放課後等デイサービス「いんくるーじょん」×きらきら団) ・ リモートボランティア (高齢者デイサービス「愛の輪」× RinRin) ・ リモートボランティア (高齢介護施設「太寿」× ハンドベルファイブ) ・ リモートボランティア (障害福祉サービス「わくわく」× 幸&イエローバンド)
5 月	・ リモートボランティア (高齢者施設「太寿」× きらきら団)

7 月	・ リモートボランティア (放課後等デイサービス「いんくるーじょん」×きらきら団) ・ リモートボランティア (高齢者施設「愛友館」 × きらきら団)
8 月	・ リモートボランティア (北阪保育園 × 高齢者施設「愛友館」)
9 月	・ リモートボランティア (北阪保育園 × 高齢者施設「太寿」)
10 月	・ 柏原市立健康福祉センター「オアシス」にて 「ふうせんかずら」の配信型のハンドベルコンサートを開催。
11 月	・ リモートボランティア (高齢者施設「愛友館」 × 「きらきら団」) ・ リモートボランティア「ビジュアルストーリーガイド」 (高齢者施設「太寿」 × 柏原市歴史資料館)
12 月	・ リモートボランティア (放課後等デイサービス「いんくるーじょん」×きらきら団) ・ リモートボランティア (北阪保育園 × 高齢者施設「愛友館」)
令和 4 年 1 月	・ 三市(柏原市、羽曳野市、藤井寺市)災害ボランティア養成講座 ・ リモートボランティア (放課後等デイサービス「いんくるーじょん」×きらきら団) ・ 「エンジョイリモボラ展」プレ開催。 柏原市内公共施設 4 拠点をリモートでつなげる。 (ほのぼのかたしも、歴史資料館、国分合同会館、国分図書館) ・ 柏原市立歴史資料館協働開催「ビジュアルストーリーガイド」 市民を対象に柏原市の歴史をリモートで紹介する。
2 月	・ リモートボランティア (放課後等デイサービス「いんくるーじょん」×きらきら団)
3 月	・ 「令和 3 年度エンジョイリモボラ展」開催。 柏原市ボランティア連絡会・学生ボランティア団体「輪」ろ協働し 柏原市内公共施設 4 拠点をリモートでつなげる。 (ほのぼのかたしも、歴史資料館、国分合同会館、国分図書館)

【ボランティア表彰】

厚生労働大臣表彰感謝状(芸達者きらきら団)

【ボランティア相談会】

毎月第 2 金曜日 13 時 30 分から 15 時 30 分 柏原市立健康福祉センター
相談会以外の日にも随時相談に応じた。

【令和 3 年度「大阪府市町村ボランティア連絡会総会・講演会」参加】

開催日： 5 月 26 日(水) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所：オンライン会議(ZOOM)

※コロナの影響により、講演会は中止。

②かしわらファミリー・サポート・センター事業の顧客満足度の向上

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を組織化し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行った。

【会員数及び活動状況】

依頼会員数	援助会員数	合 計
336	64	400

【活動状況の実績】

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	16 回
保育所・幼稚園の送り	33 回
保育所・幼稚園の迎え	60 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	65 回
学童の放課後の預かり	0 回
放課後児童クラブの迎え	165 回
放課後児童クラブ終了後の預かり	164 回
子どもの病気時の援助	1 回
子どもの習い事等の場合の援助	51 回
保育所・学校等休み時の援助	8 回
保育所等施設入所前の援助	0 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	1 回
保護者等の求職活動中の援助	0 回
保護者等の冠婚葬祭の外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	0 回
保護者等の外出の場合の援助	1 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1 回
その他	134 回
合計	700 回

③点字広報等発行、点訳・朗読、要約筆記奉仕員養成講座の実施

【講座開催状況】

開催年月日	内容	参加者
7 月 18 日 ～ 9 月 26 日	要約筆記奉仕員養成講座（全 10 回）	4 名
8 月 23 日 ～ 9 月 13 日	朗読ボランティア養成講座（全 4 回）	4 名
10 月 14 日 ～ 12 月 23 日	点訳ボランティア入門講座（全 10 回）応募がなく開催なし	中止
1 月 13 日 ～ 2 月 10 日	点訳ボランティアパソコン講座（全 4 回）応募がなく開催なし	中止

【点字広報等発行】

年 12 回毎月発行

（５）事務局機能の強化による活動支援

①子どもの学習支援事業

柏原市が開始した子どもの学習支援事業の学習補助員（学生）のコーディネート業務を受託、生活困窮世帯の児童に対し 19 名の学習補助員配置調整を行い延べ 81 回の学習支援に参加した。

②柏原市民生・児童委員協議会（事務局）

民生児童委員の円滑な活動を支援するために、主に下記の内容を実施した。

【各種会議】

正副会長会	12 回	役員会	8 回
地区定例会	10 回（コロナ感染対策を講じて各地区で地区定例会を実施）		
会計監事監査	4 月 30 日		
総会	書面審議実施		

③柏原市ボランティア連絡会

ボランティア連絡会代表者会議の開催 毎月 1 回

開催年月日	内容	参加者
4 月 13 日	ボランティア連絡会代表者会議総会開催。 役員の改選、新加入団体の紹介 事業報告及び事業計画、会計報告を行う。	23 団体
5 月	新型コロナウイルス感染症の影響により貸館利用中止のため、代表者会議中止。	
6 月 21 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 ボランティア体験プログラム、ZOOM 体験会実施	21 団体
7 月 26 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 柏原市リモートボランティアを大阪府へ周知。 リモートボランティア展プロジェクトの設置。	20 団体
8 月	新型コロナウイルス感染症の影響により貸館利用中止のため、代表者会議中止。	
9 月 28 日	新型コロナウイルス感染症の影響により貸館利用中止のため、代表者会議中止。 役員会のみ実施し、情報共有を行う。	4 団体
10 月 19 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 リモボラ展撮影進捗状況の共有。	20 団体
11 月 16 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 学生ボランティア団体「輪」と協力し、リモートボランティア展実行委員会を設置。 赤い羽根共同募金について	18 団体
12 月 14 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 ボランティア連絡会 ZOOM 勉強会開催。 厚生労働大臣表彰感謝状「芸達者きらきら団」	18 団体
1 月 11 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 ボランティア連絡会 ZOOM 勉強会開催。 エンジョイリモボラ展プレ実施。	20 団体
2 月 17 日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 リモートボランティア展実行委員会実施。	22 団体

3月3日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 令和3年度エンジョイリモボラ展実施。	17団体
------	---	------

④ 柏原市障害者自立支援協議会

開催年月日	内容	参加者
7月20日	第17回全体会	174名
9月20日～ 10月1日	定例会研修「施設における新型コロナ対策～なにわの里の事例～」動画配信で実施	
1月27日	第18回全体会	69名
3月14日～ 21日	定例会研修「苦情解決・パワーハラスメントについて」動画配信で実施	

3 高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）

(1) 介護予防ケアマネジメント業務

- ① 要支援1.2と認定された方に介護予防支援および第1号介護予防支援に関するケアマネジャー調整、計画作成を行った。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
2,135件	4,280件

- ② 自立支援型地域ケア会議（QOL向上について多職種で検討する会議）を開催し、自立支援型ケアマネジメントの向上を図った。

開催回数	検討件数
23回	38件

(2) 総合相談支援事業

① 高齢者いきいき元気センターの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数（延べ）	389	361	475	405	413	443	478	517	462	438	405	467	5,253
受付形態	電話	260	246	327	268	276	311	337	351	317	301	295	3,612
	訪問	105	92	115	100	103	99	104	112	109	102	84	1,231
	来所	24	23	33	37	34	33	37	54	36	35	26	410
相談経路	本人	88	70	79	47	83	100	111	123	76	76	73	992
	家族親族	110	128	142	114	150	133	123	161	182	168	132	1,686
	居宅介護支援専門員	47	41	66	67	66	60	57	44	34	62	61	691
	民生・児童委員	11	16	14	23	13	12	20	22	11	11	12	177
	病院・医師	21	30	47	43	14	31	44	26	33	13	22	368
	事業所（者）	15	19	19	20	27	19	25	22	38	42	29	316
	関係機関	41	25	63	40	28	46	42	39	35	32	29	464
	その他	37	28	28	39	25	30	32	43	31	15	26	351

相談 内容	高齢者虐待	14	12	32	25	9	5	1	2	4	3	12	8	127
	権利擁護相談	1	1	7	20	18	14	18	9	12	9	20	30	159
	住宅改修	20	16	24	17	19	18	13	33	33	19	13	24	249
	処遇困難	27	39	51	31	30	28	39	25	22	23	24	38	377
	介護支援専門員支 援相談	43	31	53	32	44	40	61	26	27	48	56	79	540
	介護保険申請代行	50	43	72	62	73	64	80	99	82	86	74	81	866
	介護保険関係(在宅)	125	129	173	158	162	199	224	235	179	222	184	231	2,221
	介護保険関係(施設)	10	7	18	18	20	15	31	18	27	24	24	14	226
	ケア会議	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	5	10
	経済支援	13	12	23	6	13	18	12	7	6	3	6	7	126
	認知症	58	58	66	60	63	68	86	94	105	106	78	104	946
	その他	171	194	217	185	172	177	186	178	177	147	136	170	2,110

②地域包括支援センターランチとの会議や、市内の一人暮らしの方の見守り（地域あんしん事業）の会議を開催し連携を図った。

◎地域包括支援センターランチ連携会議の開催

開催年月日・場所	検討内容
6月25日 柏原市役所	・令和2年度事業報告について ・令和3年度事業計画について ・ボランティアの受け入れについて ・ランチの啓発について ・市からの連絡事項
10月19日 ZOOM 開催	・相談実績報告について ・ボランティアポイント事業について ・ランチの啓発について ・市からの連絡事項
2月15日 柏原市役所+ZOOM 開催	・市のフレイルチェックのフォロー協力について ・3月17日市民向け講座への相談ブース協力について ・令和3年度事業計画案について ・市からの連絡事項

（３）権利擁護事業

①障がい者虐待防止センターと合同で会議、研修会を開催した。

◎高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

開催年月日・場所	内容	参加者
11月11日 柏原市役所	協議事項：柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク研修会について 報告事項：高齢者・障害者虐待実績報告、対応事例報告、高齢者いきいき元気センターと権利擁護サポートセンターからの事例報告	17名

◎柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議 研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
2月22日 ZOOM開催	柏原市内の介護保険事業所・障害事業所を対象に研修を開催 「セルフネグレクトについて」 講師：関西福祉科学大学 津田 耕一 氏	34名

◎虐待防止連携会議

柏原市役所、権利擁護サポートセンター、高齢者いきいき元気センターにより月1回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

②成年後見制度や消費者被害の防止の啓発のため、柏原市老人クラブ連合会や市と協力し研修会を企画や開催した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、柏原市高齢者福祉大会は中止）

◎啓発活動

開催年月日・場所	内容	参加者
9月20日 リビエールホール	柏原市高齢介護課に協力 「柏原市高齢者福祉大会」 消費者被害の予防について啓発	中止
11月22日 柏原市立勤労者センター （K1ホール）	柏原市老人クラブ連合会シニア大学と共同 「特殊詐欺について（寸劇）」 講師：大阪府警本部	14名

（4）継続的、包括的マネジメント業務

①介護支援専門員からの相談や研修会を予定し、後方支援を行った。

◎介護支援専門員への後方支援相談件数：延べ 557 件

◎介護保険事業所研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
11月26日 ZOOM開催	法定外研修「利用者からのハラスメントについて考える」 講師：関西福祉科学大学 都村 尚子 氏 大阪介護支援専門員協会柏原支部主催の研修会に事務局として参加	50名
2月25日 ZOOM開催	「事例検討会」 大阪介護支援専門員協会柏原支部と柏原市内の特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所との共同開催に事務局として参加	24名

②多職種連携の充実を図るために各会議や研修会を開催し高齢者支援体制づくりを行った。

◎医療・介護連携研究会の開催

開催年月日・場所	内容	参加者
11月18日 ZOOM開催	三師会、病院、医療関係者、介護支援専門員、介護福祉関係者により研修会を開催 ・プロポーザル事業について ・在宅医療、介護の今後の資源について ・グループワーク	60名

◎医療・介護連携検討会(いかしてネットかしわら)の開催

開催年月日・場所	検討内容	参加者
4月15日 ZOOM 開催	・在宅医療、介護連携推進事業業務プロポーザルについて ・医療・介護連携研究会について ・各団体からの報告について	11名
11月18日 ZOOM 開催	・研修会の振り返り ・来年度の検討会や研修会について	9名

◎認知症対応型共同生活介護・地域密着型通所介護運営推進会議参加状況

事業所名（認知症対応型共同生活介護）	回数
グループホーム神田イン国分	6回
グループホームここから柏原	1回

その他の施設は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため内部開催か中止

◎四市（柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市）地域包括支援センター懇談会

開催年月日	検討内容
11月29日 ZOOM 開催 (全体会議：担当 松原市)	・各専門部会からの報告 ・コロナ禍での各事業の取り組みについて ・自立支援型地域ケア会議について
1月24日 ZOOM 開催 (主任介護支援専門員部会： 担当 羽曳野市)	・委託プランの管理方法について ・委託プランの提出物について ・セルフプランの処理について
11月12日 ZOOM 開催 (予防プランナー部会： 担当 柏原市)	・自立支援型地域ケア会議について ・プランナーと三職種の役割分担について ・事業対象者について ・暫定プランについて ・短期集中C型サービスについて

社会福祉士部会、保健師看護師部会については中止。

③大阪介護支援専門員協会柏原支部の事務局として支部活動の後方支援を行った。

◎大阪介護支援専門員協会柏原支部の活動

開催年月日・場所	内容
6月11日 書面議決	・通常総会
11月26日 ZOOM 開催	・法定外研修会 関西福祉科学大学の先生を招き研修会を開催
2月25日 ZOOM 開催	・事例検討会 市内の特定事業所加算を取っている居宅介護支援事業所と協力して開催
2月25日 ZOOM 開催	・事例検討会 市内の特定事業所加算を取っている居宅介護支援事業所と協力して開催

その他、毎月の理事会に事務局として参加

(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握

- ①地域あんしん事業や介護支援専門員からの相談について個別ケア会議を開催し、個別支援について検討した。

開催年月日	地域包括支援センター以外の参加者
4月2日	障害者基幹相談センター、CSW、市高齢介護課
4月21日	家族、藤井寺保健所、市高齢介護課、介護支援専門員、訪問介護サービス担当責任者、通所介護相談員、福祉用具事業所
4月28日	介護支援専門員、市高齢介護課、訪問看護管理者、福祉用具事業所、薬局薬剤師
6月23日	地域住民、市高齢介護課、市福祉総務課保護係、府社協社会貢献支援員、CSW
8月10日	介護支援専門員、市高齢介護課
8月10日	介護支援専門員
10月4日	介護支援専門員
11月15日	障害者基幹相談センター、就労支援B型職員、訪問介護サービス担当責任者、知人、日常生活自立支援事業職員
3月23日	家族、知人、介護支援専門員

②包括保健師看護師を軸に多職種連携による、市内の集いや介護予防の場として、百歳体操のサロンを立ち上げ、社会資源開発に努めた。

4 高齢者対策の強化

(1) 健康寿命の延伸

①地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいのづくりの啓発を行い、その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催年月日	項目	講師
10月14日 リビエールホール (レセプションホール1)	・オリエンテーション ・柏原市の現状 ・介護予防について ・グループワーク	市高齢介護課 柏原市社会福祉協議会 保健師・看護師
10月28日 リビエールホール (レセプションホール1)	・認知症について ・ボランティア活動について ・地域サロンの紹介	市民ボランティア団体 柏原市社会福祉協議会 ボランティアセンター 認知症地域支援推進員
11月1日 リビエールホール (レセプションホール2)	・レクリエーションについて	関西福祉科学大学 一村 小百合氏
11月11日 リビエールホール (レセプションホール1)	・加齢に負けない体作り	関西福祉科学大学 重森 健太氏
11月25日 リビエールホール (レセプションホール1)	・栄養講座 ・口腔ケア	柏原市高齢介護課 管理栄養士 大阪府歯科衛生士会 橋場 桂子氏

12月2日 リビエールホール (レセプションホール1)	・ 地域での介護予防 ・ 百歳体操 ・ 意見交換会 ・ 閉講式	柏原市社会福祉協議会 保健師・看護師
-----------------------------------	--	-----------------------

②いきいき百歳体操、地域介護予防サロンの充実による居場所づくり

◎地域サロンでの柏原市いきいき百歳体操実施状況

新規立ち上げ数	1 団体
地域サロン総数	52 団体

◎地域介護予防教室

地域で実施している介護予防教室の活動支援を行った。

教室名	開催場所	内容
いきいきサロン若返り	柏原市立健康福祉センター 今町老人会館	運動指導士による運動
物忘れ予防サロン	柏原市立健康福祉センター	簡単算数、パズル等
ふれあいの家ほのぼの（中止）	ふれあいの家ほのぼの	音楽活動、健康講話、脳トレ、 柏原市いきいき百歳体操等
あすなろサロン	旭ヶ丘 3 丁目第 1 区会館	健康講座、音楽レク等 柏原市いきいき百歳体操

◎柏原市立健康福祉センターでの柏原市いきいき百歳体操の実施

市内へのいきいき百歳体操の啓発普及のため、包括保健師、看護師がボランティアと協力し実施した。

開催数	開催場所の調整ができず
0 回	実績なし

◎市内の柏原市いきいき百歳体操のサロンや地域介護予防教室へ包括保健師、看護師等が出前講座を行い、介護予防の普及啓発に努めた。

出張先	出前講座回数
百歳体操サロン	47 回
地域介護予防教室	7 回
その他	2 回

③「カフェほのぼの」の活動支援

	開催数	延べ参加者数
カフェほのぼの（問屋場亭）	9 回	196 人

（２）認知症対策の強化

①認知症総合支援事業の推進

◎認知症地域支援推進員への相談件数 延べ 375 件

◎認知症サポーター養成講座

開催数	延べ養成人数
11 回	292 人

◎認知症カフェ（健康寿命の延伸項目参照）、認知症家族介護者の会の運営（家族者支援の充実項目参照）

◎物忘れ相談会の実施

市内の認知症サポート医と連携し、市民からの物忘れについて個別に相談会を実施した。

開催年月日	場所	認知症サポート医	相談者数
5月27日	ZOOM開催	藤江クリニック 藤江 博 先生	2名
9月17日	ZOOM開催	弓崎いこいクリニック 弓崎 恭俊 先生	2名
2月3日	ZOOM開催	国分病院 木下 秀一郎 先生	2名

◎認知症関連協力団体会議の実施

市内の認知症関連の各団体の代表と、認知症啓発についての会議を開催した。

開催年月日	場所	参加団体
8月27日	ZOOM開催	柏原市医師会、国分病院、八尾こころのホスピタル、大阪介護支援専門員協会柏原支部、地域密着型サービス事業所連絡会、柏原市介護保険デイサービス事業所連絡会、介護予防サポーターズ、柏原市高齢介護課、柏原市高齢者いきいき元気センター、認知症地域支援推進員

②認知症初期集中支援チームの活動実施

認知症サポート医、認知症地域支援推進員、包括保健師・看護師にて、認知症の疑いがあり、支援に繋がっていない方への初期支援を行った。

チーム対応件数	1 件
---------	-----

(3) 介護者支援の充実

①在宅高齢者・障害者配食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障害者に対して、栄養のバランスのとれた食事の定期的な提供を通じて栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図るとともに、配食時に安否確認などを行うことにより、高齢者等の在宅生活を支援することを目的としてサービスを提供した。

○月曜日～金曜日の毎日、ボランティアが中心となって調理し、個別に配食した。

年間延配食数	5,830 食	年間利用実人数	60 人
年間配食日数	243 日	独居高齢者	53 人
高齢者配食数	5,500 食	高齢者のみ世帯	5 人
障害者配食数	330 食	昼間独居高齢者	2 人
		障害者	3 人
調理ボランティア数	62 人	配食ボランティア数	20 人

○調理ボランティア班長会議

4 回開催

②介護用品支給事業（高齢者オムツ助成）の運営

対象	支給額	延べ利用者数
高齢者(介護度 3 以上、非課税世帯)	1 ヶ月あたり 5,000 円を限度	357 人

③認知症家族介護者の会「カフェいどばた」の支援

毎月火曜日に開催し、認知症当事者の家族同士の情報交換を行った。

	開催数	延べ参加者数
カフェいどばた（ふれあい館オガタ）	4 回	23 人

（４）団体活動の支援

◎柏原市老人クラブ連合会事務局の運営

おおむね 60 歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止する。

老人クラブ単位数	会員数
42 クラブ	2,514 人

○活動内容

活動内容	日時
各単位クラブ補助金申請手続	4 月
総会	5 月（書面決議）
シルバーヘルススポーツ講習会	5 月～7 月（全 4 回）（中止） 10 月ウォーキング（実施）
シニア大学	6 月～9 月（全 6 回）（中止） 10 月～11 月（全 4 回）（実施）
高齢者福祉作品展	1 月 18、19 日（中止）
高齢者福祉大会 リビエールホール（大ホール）	9 月 20 日（中止）
高齢者演芸大会 リビエールホール（小ホール）	11 月 2 日（中止）
新年互例会	中止

○大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加

（５）地域見守りネットワークの構築

◎地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち、希望される方や見守りの必要な方に対して見守り訪問や相談対応、会議を行った。

	エリア会議	訪問件数
柏原地区	7 回	494 件
堅下地区	6 回	467 件
国分、堅上地区	8 回	520 件
合計	21 回	1481 件

◎くらしのサポート・サービス事業の拡充と安定運営

同じ地域に住む住民同士“互いに助け合っていこう”という共助の趣旨のもと、PR媒体を増やし事業周知を行い会員増強に努めた。

【会員数】

（カッコ内は実働数）

	依頼会員数	協力会員数
令和 2 年度	461（85）	112（24）
令和 3 年度	481（125）	117（21）

【活動実績】

依頼件数	マッチング件数	活動回数
20 件	20 件	2,513 回

5 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

○ケアプランかしわら

令和3年4月より「ケアプランかしわら」と「ケアプランこくぶ」を統合し、柏原市片山町の事務所を拠点にして「ケアプランかしわら」として新体制でスタートした。

事業運営としては、引き続き特定事業所加算Ⅱの加算要件維持に努め、事業基盤の安定化を図ることができた。また、令和3年度介護保険法改正への対応や、医療機関との密な連携による入退院時における情報共有で、利用者の安心につながると共に、確実な加算の取得につながるように努めた。

また、地域包括支援センターランチの一つ「ランチこくぶ」として、介護予防把握事業や、介護予防活動強化推進事業(令和4年3月実施)を担った。

○職員体制（令和4年3月末現在）

	常勤	非常勤	常勤換算 9.4名
管理者兼主任介護支援専門員	1名		
介護支援専門員	7名	2名	

○介護度別利用状況（令和4年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
20	27	107	53	31	29	16	283人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 12 件
-----------	---------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算	通院時情報連携加算
3,138	59	115	19	7

○地域包括支援センターランチこくぶ相談受付件数 合計 66 件

家族・本人	病院関係	事業所	その他
38	11	5	12

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	309	289	93.5%

○ホームページの更新（事業所の移転 アンケート集計結果の報告等）

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 1名

(2) 訪問看護事業

○訪問看護ステーションかしわら

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者に対し看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算(医療では24時

間対応体制加算)の体制を維持し、多くの在宅看取りの支援を行った。更にコロナ禍において、積極的なオンライン会議の開催やICTの活用のためにタブレット端末を追加購入するなど感染対策を行いながら、利用者が安心して在宅生活を送れるようかかりつけ医と連携を図りながら支援した。

○職員体制(令和4年3月末現在)

	常勤	非常勤
管理者	1名	0名
看護師	3名	2名
理学療法士	1名	3名

○介護度別利用状況(令和4年3月末現在)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	合計
5	8	11	8	4	16	9	0	61人

○医療保険利用状況(令和3年度 延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後期高齢	6	7	9	9	7	9	8	7	8	8	9	10	97人
医療保険	8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	8	6	84人

〈月別利用状況〉

○介護保険請求対象者

(令和3年度 訪問延べ回数。但し、理学療法士の訪問は20分毎に1回カウント)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
606	604	617	585	578	608	556	552	474	473	500	595	6,748回

○医療保険対象者(令和3年度 訪問延べ回数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
114	98	137	117	124	138	123	138	157	142	145	148	1,581回

○主な会議の出席状況(オンライン会議も含む)

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協会 中河内ブロック管理者会議	11回
柏原市看看連携会	6回
合計	17回

○アンケート調査

対象	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護・医療 全利用者	9月～10月	67	55	82.1%

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行

訪問看護の取り組みやトピックスを「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて年2回発行し、合わせてホームページも年2回更新した。

○内部研修

ストーマ管理について、PPE着脱方法について等、日々の業務に役立つ研修会を年2回実施

○訪問看護電話相談

地域の医療・介護職からの相談件数 3件

○実習生の受け入れ

関西看護専門学校実習生 12名

大阪保健福祉専門学校 2名

○社会福祉法人寿光会のグループホーム「令寿の杜」の健康管理事業の受託を令和3年4月から始める。対象者9名（令和4年3月末現在）

（3）訪問介護事業

○ヘルパーステーションかしわら

利用者の重度化・介護者の高齢化等の多様なニーズへの対応を、関係機関と迅速に連携をとり、サービスの提供を行った。コロナ感染症対策として引き続き感染予防対策の徹底を行い、濃厚接触者や感染疑いケースへのサービスの提供も行った。又、人材育成ではオンライン研修・事業所内研修の取り組みを行った。

○職員体制(令和4年3月末現在)

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者(サ責兼務)	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	3名	4名	
訪問介護員	介護福祉士	0名	0名	20名
	実務者研修 修了者	0名	0名	2名
	看護師	0名	0名	1名
	ヘルパー2級	0名	0名	13名
	初任者研修	0名	1名	1名

サービス提供責任者7名 訪問介護員38名 介護福祉士資格取得者率60%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

介護度別利用者状況（令和4年3月末現在）

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用者数	19	18	19	11	4	3	5	79名
利用延べ回数	118	127	172	149	56	51	118	791回

○障害者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づいた「移動支援サービス」のサービスを提供

障害者の利用者状況（令和4年3月末現在）

サービス種別	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
利用者数	52	1	7	3	63名
利用延べ回数	581	53	47	11	692回

○アンケート調査(福祉事業課合同で実施)

サービス区分	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護保険	9月～10月	90	81	90%
障害福祉サービス		75	59	78.7%

○柏原市育児支援家庭訪問事業受託実績

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供
利用状況・・・2件（利用合計時間:12時間00分）

○内部ミニ研修（登録ヘルパーを含めた情報共有・人材育成の場として活用）

実施月	研修内容
4・5月	新型コロナ感染症について
6月	熱中症について・交通安全
7月	新型コロナ感染症・食中毒予防対策・ストレス対処法
8月	災害
9月	災害訓練・認知症・新型コロナ感染症について
10月	虐待
11月	冬に流行する感染症・救命救急
1月	オミクロン株感染対策・感染時シミュレーション
2月	新型コロナ感染症について

6 障害者支援事業

（1）柏原市療育教室

①発達に弱さのある子どもたちの成長・発達促進

それぞれの幼児の発達段階や障害の違い（身体的・知的）に応じてより細やかな療育に取り組めるように2つのグループに分け、保育の質の向上を目指し少人数で保育を行った。

うさぎグループ（1,2歳児中心、親子同室保育）

ぱんだグループ（2,3歳児、基本親子分離保育）

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。また、季節に応じた行事を実施。

月別利用状況（児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ぱんだ	20	17	37	29	27	30	31	53	56	45	41	49	435
うさぎ	20	26	13	29	15	29	70	35	35	38	42	41	393
合計	40	43	50	58	42	59	101	88	91	83	83	90	828
日数	18	17	21	19	18	19	20	20	19	18	17	16	222

②保護者の思いに寄り添った適切な支援

家庭訪問

子どもの生い立ちや家庭環境・生活環境を把握することで、支援の方向性を考えると共に、保護者の困りごとや教室では話しにくい相談事など保護者の思いに寄り添う支援に取り組んだ。保護者へは子どもの障害受容など、特に対応が必要な場合に随時時間を作って対応した。

個別支援計画

保護者と個別懇談をし、保護者のニーズと子どもの現状を共通理解したうえで、療育教室での目標をたてた。また、毎月の職員会議にて目標の達成や見直し、新しい目標が必要か等を検討した。

③包括的支援の実施

柏原市障害者自立支援協議会こども部会に参加し、医療機関や他事業所と連携を図った。また、互いの施設見学も実施予定であったが、療育教室の公開保育と共に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となった。

＊新型コロナウイルス感染症予防の為に、手洗い、消毒、検温に留意し保育を行っていたが、3月中旬に新型コロナウイルス陽性の子どもと保護者が出たことで、土日祝日3日間に加え保育日3日間を閉室とした。その後の発生拡大はなかった。

(2) 肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に運動能力の改善として機能訓練を行い、保護者には日常生活のなかで活かせるように指導を提供する。

※令和3年度は在籍児なし

7 障害福祉サービス事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防対策を講じながら通所事業を実施。

希望者には在宅利用などをすすめ安心・安全な利用ができるように柔軟に対応を行った。

また、就労継続支援B型では多様な働き方の一環として在宅利用を開始し、在宅での生産活動の提供を行った。

(1) 生活介護

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	12人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
257日	2,233人	個別の機能訓練、集団体操・レクリエーション、生産活動、外出、誕生日会、季節の行事の開催

契約者数19名（内新規契約者1名） 令和4年3月31日現在、在籍者数13名

①リモートでのボランティア交流や、大学生の介護実習等の受入れにより地域住民との交流を実施。

②感染対策として在宅利用を実施。実利用者9名（通所と併用あり）

③自主製品の販売や友愛訪問の「のしつけ」作業の請負等を通じた地域との交流。

業者と取引を開始し、作業やレクリエーションなど様々な日中活動の提供を行う。

自主製品の年間売り上げ5,267円 軽作業収入105,448円

④年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加。

(2) 就労継続支援B型

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	28人	利用者が地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
259日	4,837人	帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等個々に合わせた作業（6社契約中） 職員・利用者向け飲料販売

契約者数28名（内新規契約者6名） 令和4年3月31日現在、在籍者数25名

- ①様々な作業の中から個別の能力や機能にあわせた作業を提供。
職員向け飲料販売を開始し、販売同行や請求書作成などの生産活動を実施。
就労支援事業収入1,965,397円 平均工賃月額6,654円
- ②多様な働き方として在宅利用を開始。実利用者数3名
- ③軽作業以外の活動の場として土曜日行事を2回実施。他者との交流や臨機応変な時間の対応など社会性向上訓練として行う。
- ④部会や研修会への積極的な参加
○柏原市作業所連絡会親会議で柏原市内の障害福祉事業所との情報交換
○柏原市作業所連絡会主催の研修会「クレーム対応研修」に参加
○柏原市作業所連絡会授産部門で各事業所見学と交流を開始
- ⑤年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加。

（３）指定特定相談支援・障害児相談支援

障害者やその家族の方に対し、障害福祉サービスの情報提供・利用援助等、計画に基づいた地域における生活支援を実施するため、柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制を強化した。また、柏原市障害者自立支援協議会の各専門部会(相談、子ども、日中・就労・くらし)と連携し、事例検討、災害対応、啓発活動、当事者・家族の情報交換等の活動を実施した。

○計画相談（令和４年３月末現在）

指定特定相談支援		障害児相談支援		地域移行地域定着支援	
モニタリング件数	538 件	モニタリング件数	119 件	モニタリング件数	0 件
計画作成件数	205 件	計画作成件数	53 件	計画作成件数	0 件

８ 「介護保険・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会 事務局会議」による事業方針の検討（介護保険・障害福祉サービス事業共通事項）

「介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会 事務局会議」を年２回開催し、事業方針を検討した結果、令和３年４月より居宅介護支援事業・訪問介護事業の事業所統合を行った。また、令和４年度より障害福祉サービスの生活介護を「共生型通所介護事業」として開設するために準備を進め、理事会での承認を得た。また、介護・障害の報酬改定の時期に合わせた各事業の中期（３ヶ年）計画に対して、評価と策定をした。

事務局会議の開催	介護保険事業・障害福祉サービス事業 合同で開催 (9月16日、2月24日) 計2回
----------	--